



発行所 高松市田村町1033-3 TEL (087) 867-4797 FAX (087) 867-6446 kakyoso@kakyoso.com 香川県教職員組合 定価 1部50円 1月100円 (組合員の購読料は組合費に含む)

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

第315回 中央委員会 8月25日(土) 10:00~ 職場で悩みのことがあればお知らせください。

各支部専門部交渉行われる 一人一人を増やし、二人に仕事を減らす

香川県教職員組合では、毎年この6月に各市町教育委員会や東部・西部教育事務所と交渉を行っている。また、県労連と一緒に県内8市9町を回る行政キャラバンにも参加し、教育現場の多忙化の現状を訴え、行政としてのサポートを要請している。今回は、その中でも特徴的な二支部の交渉を抜粋してお伝えしたい。

高松支部

人事異動について

異動は1ヶ月前に内示し、本人の意志や事情を聞いてから決定するように要請すること。特に、新規採用者も含め、住所変更を伴う場合は学校名も知らせること。

市教委

1ヶ月前の内示は難しい。住所変更を伴う場合は1週間前に内示し、小豆島町の場合は町名まで知らせている。

香教組

学校統廃合等で、小豆島町は1つのまことに1中学校という場合が増えている。町名を知らせることで学校名が分かる場合も多い。学

校名を知らせてはどうか。また、範囲の広い高松市では、北ブロックか南ブロックか程度を知らせるべきではないか。

市教委

場合は検討したい。

小学校の外国語指導について

小学校の英語指導員は、現在の中学校配置ではなく小学校配置にすること。また小学校の英語教育については、その成果を検証すること。

市教委

ALTによって指導に差があることは理解している。市としては、英語のサポート教員(支援員)を入れて指導を充実させたいと考えている。

ICカードの導入について

ICカードによる勤務実態の把握を学校任せにせず、市教委が責任をもって把握し改善していくことが大切ではないか。教員の中には、ICカードをかざしてそのまま残って仕事をしている者もいる。相変わらず土日出勤の教員も多

香教組

い。校長の中には、教職員の勤務実態をしっかりと把握し、超過勤務に該当する者については自ら話を聞いている方もいる。校長会や教頭会でも指導していきたい。

市教委

量的にも栄養面でも問題がある。保護者にとっては、給食費も払って、やっぱり昼食も作らなければならないという二重負担ではないか。教職員についても、簡易給食が出るという理由で昼食時間を削ったり、すぐに会議を入れたりする事がないよう、管理職にしっかりと

香教組

簡易給食では、量的にも栄養面でも問題がある。保護者にとっては、給食費も払って、やっぱり昼食も作らなければならないという二重負担ではないか。教職員についても、簡易給食が出るという理由で昼食時間を削ったり、すぐに会議を入れたりする事がないよう、管理職にしっかりと

市教委

量的にも栄養面でも問題がある。保護者にとっては、給食費も払って、やっぱり昼食も作らなければならないという二重負担ではないか。教職員についても、簡易給食が出るという理由で昼食時間を削ったり、すぐに会議を入れたりする事がないよう、管理職にしっかりと

香教組

量的にも栄養面でも問題がある。保護者にとっては、給食費も払って、やっぱり昼食も作らなければならないという二重負担ではないか。教職員についても、簡易給食が出るという理由で昼食時間を削ったり、すぐに会議を入れたりする事がないよう、管理職にしっかりと

二豊支部

働き方改革について

過労死ライン(月残業80時間超)を超える教職員が多い中、三観でも病休を取る人が多くいる。また、現職死も出ている。大変悲しいことである。こういったことが起こらないような職場環境であって欲しい。

香教組

教職員の健康を守るため、勤務時間を守り、多忙化を解消すること。当面、教員の空き時間を一日一時間は確保すること。学校訪問の準備等に必要以上の労力をかけている学校がある。若い教師は毎日栄養ドリンクを飲み、中堅教師は病気すれすれで働いている現状である。小学校でも部活動を平日や土日にするなど過激化してきている。勤務時間を超えると分かっているが、遅い時間から会議を始めるのはいいかなものかと思う

市教委

勤務時間は定められている。県の働き方改革プランにも出ている。守るよう努力するべきである。

香教組

英語の教科化に伴う多忙化と事務職員の増員について

所長

各支部の交渉内容は多岐にわたっている。それは、現場の実験、気になることから考えられているからだ。そして、この交渉の中で共通して言えることは、4月からの「働き方改革」の実感としてまだまだ現場は多忙であること。そしてこの多忙化解消のためには「一人一人を増やし、二人に仕事を減らす」ということが大切で急務であるという報告があった。

香教組

英語の教科化に伴う多忙化と事務職員の増員について

所長

英語の現状はお聞きした。事務員の多忙は把握している。学びの支援隊の派遣も可能。新採の事務員の所へ行つて指導等もする例もある。県等の関係機関に話を届けている。

香教組

英語の現状はお聞きした。事務員の多忙は把握している。学びの支援隊の派遣も可能。新採の事務員の所へ行つて指導等もする例もある。県等の関係機関に話を届けている。

各支部の主な交渉

6/5	高松支部	市教委交渉
6/18	高松支部	大川支部 東部事務所交渉
6/20	三豊支部	西部事務所交渉
6/21	丸亀支部	西部事務所交渉
6/22	三豊支部	市教委交渉
6/27	坂出支部	西部事務所交渉

塀の耐震化について思う

地震発生時の被害を減らすために、学校や公共施設の塀の耐震化が重要である。高松市では、今年度から順次耐震化を進めている。しかし、まだ多くの塀が耐震化されていない。特に、古い塀や、基礎が浅い塀は、地震発生時に倒壊の危険性が高い。学校では、塀の倒壊による児童の安全が脅かされる。また、塀の倒壊による交通の遮断も、緊急時の対応に支障をきたす。高松市では、今年度から順次耐震化を進めている。しかし、まだ多くの塀が耐震化されていない。特に、古い塀や、基礎が浅い塀は、地震発生時に倒壊の危険性が高い。学校では、塀の倒壊による児童の安全が脅かされる。また、塀の倒壊による交通の遮断も、緊急時の対応に支障をきたす。高松市では、今年度から順次耐震化を進めている。しかし、まだ多くの塀が耐震化されていない。特に、古い塀や、基礎が浅い塀は、地震発生時に倒壊の危険性が高い。学校では、塀の倒壊による児童の安全が脅かされる。また、塀の倒壊による交通の遮断も、緊急時の対応に支障をきたす。



あ3を時 5:55 激心 1:8 大地震 6:北朝 7:部

第3回パワーアップ学習会

採用選考試験2次試験対策講座

みんなでレベルUP!

日時 8月10日(金)18:30(18:00受付)
場所 高松テルサ 3F大会議室
内容 小論文添削 面接チェックポイントなど
資料代 300円

どなたでも参加できます。

詳細は、香教組HPでご確認ください。

障害児学校支部に関わる3つの署名

ちょっと一息つける頃に署名に伺います。どれも特別支援の分野からの大事な署名です。ご家族の名前もぜひ書いて御協力をお願いします。

「寄宿舎教育の充実・発展を求める要求署名」

「特別支援学校の設置基準策定をもとめる請願署名」

「特別支援学級の学級編制基準の改善を求める要請署名」

いずれも8月末〆切

中学校道徳教科書学習会

今年度2018年度から「特別の教科」道徳が小学校から始まりました。

また、中学校の道徳の教科書採択の年です。8社の教科書が文科省検定で合格し、展示会も開催され、8月末までに各採択地区で決定されていきます。

この8社の中で、今回中学校だけに作成された「日本教科書」が最も問題がある教科書とされています。

今回の中学校道徳教科書について、下記の日程で、香川県国民教育研究所が学習会を開催します、

香教組、高教組の組合員だけでなく、保護者、市民のみなさんも参加していただき、これら教科書問題を考えていただければありがたいです。

日時 7月21日(土)
午後1:30~3:30
場所 香教組会館2階
内容 中学校道徳教科書
問題学習会
主催 香川県国民教育研究所
(民研)
組合員 所員無料

国民平和大行進2018愛媛へ引き渡される

参加者総数626名
海外青年支援募金62,001円

たんと成者は果こと人総員協わ参徴参いセ町激長訪の市
との松県臣一通のれ報を計がのけ加は加た1長励2問自9①
報力永内一五し原ら告越6多新医、青者②ジの他町し治町1
告だ始行さ十行動の。え0く入療と年の行をメ市市長3体全県
。っさ進ん嵐進力成③た0、職生りの特進頂ッ・が市をて8



よ動約火で器原たて礼香
うを発ある廃水県内の決と川
とさ効持っ絶協内決愛と川
呼らにっことの筆通意媛の
びに向てのをの頭しをを
か大けの行強代表進述で
けき草の進調し、原爆の
まくの進調し、原爆の
まし盛根で禁、この
たりで止こ
上の止こ
げ活条の

主催 公益財団法人津田教育会館 共催 香川県教職員組合

夏の教育講座

「道徳科」を乗り越える 道徳教育の実践

～子どもたちと未来のために～

道徳の「教科」化がこの春から始まりました(中学校は2019年) 多くの現場教師、研究者の反対を封じ、道徳を「教科化」した文科省。しかし、「道徳科」によって「子どもの個性や多様な意見を潰しかねない」、天皇制国家の維持を目的とした戦前の修身の復活にならないかなど多くの危惧や疑問が生まれています。さらに子どもの「内心」を評価することに反発や戸惑いを感じる教師も少なくなく、教育現場は混乱しています。こうした現状を打破するための提言を最も鋭く、明快に行っている「道徳教育」論の第一人者が、今回の講師渡辺雅之さんです。『道徳教育とは何か』『道徳性を育む教育』『道徳科の時間を再構築する実践の視点』などを縦横に語ってくださいます。多くの教職員・県民の皆様のご参加をお願いします。

日時 2018年8月25日(土) 午後1時30分～
場所 高松テルサ 視聴覚室 (高松市屋島西町)
講師 渡辺雅之さん(大東文化大学准教授)

参加料 無料

講師紹介

大東文化大学准教授 全国生活指導研究協議会(研究全国委員)
埼玉県で中学教師として22年間勤務。いじめ非行問題に取り組み、3年B組金八先生(第4シリーズ)にイじめを取り上げた実践がドラマ化される。現在は大学で教員を目指す学生たちの指導にあたり。専門は「生活指導」「道徳教育」「多文化共生教育」など。反差別カウンターや国会前抗議アクションなど路上に出る研究者でもある。
主な著書
『「道徳教育」のベクトルを変える～その理論と指導方法』高文研
『いじめレイシズムを乗り越える道徳教育(単)』同『どうなっているんだろう?子どもの法律(共)』同『ヒューマンライツ～人権を巡る旅(共)』ころから出版



教職員のための 全教共済

年金共済等の春募集・契約更新は終了しました。
今回は秋募集です。

総合共済・教職員賠償責任共済・くらしの賠償責任共済・火災共済・全教自動車保険は随時加入できます。
引き続きよろしく申し上げます。